

令和8年度県政重点方針

令和7年10月21日
大 分 県



はじめに

県政重点方針は、県政推進の羅針盤である長期総合計画「安心・元気・未来創造ビジョン2024～新しいおおいたの共創～」の着実な実行を図るため、年度ごとに定めるアクションプランとして位置づけているものであり、今後の予算編成等はこの方針に沿って進める。

変化の激しい時代にあって、本県を取り巻く情勢も絶えず変化している。そのような中、時流を丹念に読み解き、県政の諸課題に、迅速かつ適切に対応することが求められている。

特に、物価高騰の長期化や南海トラフ地震等の災害への対応は喫緊の課題となっている。また、人口減少対策など、「ビジョン2024」に掲げた取組の一層の加速も必要である。一方で、大阪・関西万博やDXの進展など新たな成長の機会も生まれており、こうした時流を逃さず果敢に挑戦していくことが重要である。

このような認識の下、物価高騰への対応と持続的な賃上げの実現、県土強靱化など喫緊の課題への対応、万博成果の未来への継承をはじめ、子育て満足度・健康寿命・障がい者活躍の「3つの日本一」への挑戦、元気な農林水産業の振興やスポーツ・芸術による元気づくりなどに取り組むとともに、交通ネットワークの充実、環境先進県の実現やDXの推進、「教育県大分」の創造といった未来への投資も充実を図る。

これまでの成果の上に新たな施策を積み重ね、「選ばれるおおいた」の実現に向けて、取組を加速させていく。



推進項目

喫緊の課題への対応と万博成果の未来への継承

1

物価高騰への対応と持続的な賃上げの実現

- ・物価高騰への対応と賃上げ支援策の一体的な展開
- ・地域経済の発展、産業の振興

2

新たな被害想定を踏まえた県土強靱化と危機管理の強化

- ・大規模災害への備え
- ・強靱な県土づくり
- ・危機管理・災害時要配慮者支援

3

大阪・関西万博等からひろがるおおいたの未来

- ・観光・魅力発信
- ・未来社会の実現
- ・国際交流の深化

ビジョン2024の加速

4

3つの日本一への挑戦

- ・子育て満足度日本一
- ・健康寿命日本一
- ・障がい者活躍日本一

5

安全・安心・共生社会おおいたの構築

- ・多文化共生・地域共生
- ・地域の安全・安心

6

人材の確保・育成・定着の促進 ～ 選ばれるおおいたの実現 ～

- ・多様な人材が活躍できる環境づくり
- ・産業を支える人づくり

7

元気な農林水産業 ～ 元気な担い手の育成、産地の形成 ～

- ・経営体の生産性向上
- ・産地・地域の生産性向上

8

世界をつなぐスポーツ、心を動かす芸術文化によるおおいたの元気づくり

- ・スポーツの振興
- ・芸術文化の振興
- ・アクセスの改善

9

交通ネットワークの充実とまちの魅力向上

- ・広域交通の充実
- ・空港・海上交通の充実
- ・生活交通・物流サービスの充実
- ・まちの魅力向上

10

環境先進県おおいたの実現

- ・持続可能な環境づくり
- ・GXに挑戦する企業の後押し
- ・ZEB化等の推進
- ・豊かな自然の魅力発信

11

未来を拓くDXの推進

- ・暮らし
- ・産業
- ・行政

12

「教育県大分」の創造

- ・学校の魅力向上
- ・遠隔教育大分モデルの推進
- ・安全・安心な教育環境の構築
- ・教員の負担軽減・人材確保

1 物価高騰への対応と持続的な賃上げの実現

喫緊の課題への対応・
万博成果の未来への継承

長期化する物価高騰への対応と持続的な賃上げの実現が求められている。また、事業承継難や中堅企業の不足、半導体分野での人材不足が課題となる一方、自動車産業では生産拡大が見込まれる。そのため、物価高騰対策や賃上げ施策の一体的展開を進め、事業承継や中堅・100億企業の創出支援、ものづくり産業の競争力強化を通じて、賃上げ実現に取り組む。

物価高騰への対応と賃上げ支援策の一体的な展開

賃上げ関連施策を一体的に展開するとともに、効果的な施策の検討・実施・進捗管理を行う庁内PTを設置

○生産性向上・省力化投資支援

- ・生産性向上支援の強化
- ・DX、AIの活用促進

○価格転嫁支援

- ・改正下請法の周知

○金融支援

- ・金融支援の充実

○経営基盤強化支援

- ・専門家派遣等による支援
- ・事業承継の促進、中堅・100億企業の創出

○高付加価値化支援

- ・起業・創業の促進
- ・県産加工食品・農林水産品、観光産業の高付加価値化



大分県政労使会議（2025年1月31日開催）

●国の動きと連動した物価高騰対策

地域経済の発展、産業の振興

○地域経済の発展

- ・事業承継診断の前倒し実施、事業承継・引継ぎ支援センターの体制強化
- ・「中堅・100億企業」創出のため、中堅企業等と地域牽引企業との経営者ネットワークの構築
- ・社会課題をビジネスで解決する起業家の創出支援
- ・新たな事業に挑戦する企業内起業家の育成支援

○ものづくり産業の競争力強化

- ・半導体企業と教育機関のマッチングの支援
- ・半導体・自動車等に関する販路開拓支援
- ・企業誘致セミナーやデジタル広告を活用した情報発信の強化
- ・企業ニーズに対応した新たな産業用地整備



半導体関連企業による台湾商談会in台北

2 新たな被害想定を踏まえた県土強靱化と危機管理の強化

喫緊の課題への対応・
万博成果の未来への継承

南海トラフ地震をはじめ、洪水や土砂災害など頻発・激甚化する自然災害への対応のほか、災害時の水確保やインフラ老朽化、要配慮者支援など課題は多い。そのため、新たな地震被害想定を踏まえた防災対策や強靱な県土づくりを進めるとともに、災害時の支援体制を強化し、災害死ゼロを目指して県民の命と暮らしを守る。

大規模災害への備え

○新たな地震被害想定を踏まえた防災対策の強化

- ・ 生成AIを活用したマイ被害想定などによる県民の防災意識の向上
- ・ 南海トラフ地震臨時情報発表を想定した対策の検討

○大規模災害に備えた防災対策の推進と消防力の充実強化

- ・ 孤立集落対策や被災者支援、応援・受援体制の構築など防災対策の推進
- ・ 大規模林野火災に備えた防災ヘリの機能向上など消防力の充実強化
- ・ 災害時の水確保対策に取り組む市町村との連携
- ・ ドローン操縦者の育成など災害等対応能力の向上



生成AIを活用したマイ被害想定イメージ（例）

強靱な県土づくり

○強靱な県土づくりの推進

- ・ 流域のあらゆる関係者と協働する流域治水の推進
- ・ 砂防施設の整備や土砂災害リスク情報の充実など土砂災害対策の推進
- ・ 地震・津波・高潮対策の推進
- ・ インフラの老朽化対策と適切な維持管理の推進
- ・ 農林水産施設の防災・減災対策の推進



安岐ダム(国東市)の再生事業

危機管理・災害時要配慮者支援

○感染症流行への備え

- ・ 医療措置協定による入院病床や発熱外来の確保

○災害時要配慮者への支援体制の強化

- ・ 個別避難計画の作成に取り組む市町村や避難訓練を実施する福祉避難所への支援

3 大阪・関西万博等からひろがる おおいたの未来

喫緊の課題への対応・
万博成果の未来への継承

大阪・関西万博は、多くの来場者で賑わうなど成功を収め、本県も観光誘客や関連イベントを通じ魅力発信に取り組んできた。今後はこの成果を活かし、観光の成長産業化と全庁プロモーションの強化、未来社会の実現に向けた挑戦、国際交流の深化を進めていく。

観光・魅力発信

○持続可能な観光地域づくりの推進

- ・観光産業の高付加価値化に取り組む事業者への伴走支援
- ・新たな圏域からのニーズ掘り起こし
- ・国・地域ごとの市場ニーズに応じた誘客活動



普光寺瞑想体験（豊後大野市）

○県産品の高付加価値化・消費拡大支援

- ・県産加工食品の新製品開発や原料調達・デザイン刷新等の支援
- ・輸出に向けた伴走支援など、県産加工食品の域内外消費の推進
- ・飲食店や宿泊施設と連携した農林水産物等の消費拡大

○県内外に向けた効果的な全庁プロモーションの強化

- ・万博の成果を活かした新たな全庁プロモーションの実施



大阪・関西万博 九州7県合同催事の様子

未来社会の実現

○未来への挑戦

- ・空飛ぶクルマの社会実装に向けた取組の推進
- ・ドローンの更なる社会実装の促進



提供（株）SkyDrive

大阪・関西万博でのデモフライトの様子

国際交流の深化

○経済・文化・教育など幅広い分野での海外との交流促進

- ・万博等を通じて交流を深めた国・地域との友好関係拡大
- ・海外の成長市場の取り込みに向けたプロモーションの実施

4 3つの日本一への挑戦

出生数が減少する一方、社会的養育や医療、療育を要する児童は増加傾向にある。また、健康寿命の順位向上や在宅医療体制の整備が求められており、障がい者の雇用や社会参加の一層の推進も必要である。そこで、子育て支援や様々な困難を抱えるこどもたちへの支援体制を充実させるとともに、健康づくりと障がい者が活躍できる環境整備を進め、3つの日本一に挑戦する。

子育て満足度日本一

○出会い・結婚から妊娠・出産、子育てまでの切れ目ない支援の強化

- ・ 出会いサポート・センターの認知度向上と市町村・企業等への支援強化
- ・ 妊産婦への支援・共育での推進



知事公舎婚活イベント

○社会的養育を要するこどもと里親への支援充実

- ・ 民間ノウハウを活用し、里親募集から児童の自立まで切れ目ない支援体制の強化
- ・ 緊急時受入など里親制度の充実

○医療的ケア児、発達障がい児へのきめ細かな支援体制の拡充

- ・ 医療的ケア児の受入環境の充実
- ・ 専門人材を活用した支援の充実

健康寿命日本一

○健康無関心層への啓発・取組強化

- ・ あるとつくアプリの広報強化
- ・ ICTツールの活用による食習慣改善の推進



野菜摂取量の推定

○在宅医療・オンライン診療の推進

- ・ 在宅医療の新規参入や受入環境整備
- ・ オンライン診療提供体制の充実

○訪問看護提供体制の充実

- ・ 訪問看護ステーションの機能分化、連携体制の強化

障がい者活躍日本一

○企業とのマッチング支援の充実と事業所の業務拡大に向けた支援の強化

- ・ 法定雇用率引き上げを見据えたマッチング支援の充実
- ・ 事業所・企業向け支援の強化



障がい者雇用人事担当者研修会の様子



障がい者雇用促進ジャーナル「ともに働く」

○障がい者が安心して地域生活を送るためのきめ細かな支援

- ・ ICTを活用した手話の普及促進
- ・ 精神科長期入院患者の地域生活への移行の促進

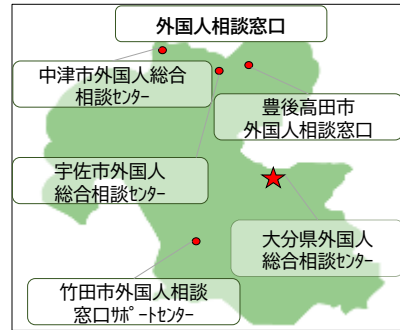
5 安全・安心・共生社会おおいたの構築

外国人住民の共生支援や高齢化集落の生活支援、動物共生やひきこもり対策、巧妙化する詐欺や交通事故防止への対応、食の安全確保などの課題がある。そのため、外国人の相談体制の充実や高齢化の進展を踏まえた集落対策の強化を図るとともに、防犯対策や交通環境の整備、食品衛生体制の整備を強化し、「安全・安心・共生社会おおいた」を構築する。

多文化・地域共生

○多文化共生社会の実現

- ・外国人の相談体制の充実
- ・生活情報や便利な情報等の発信力強化



偏在する外国人相談窓口

○ひきこもり対策

- ・ひきこもり実態把握と段階的な社会参加を後押しする社会的居場所づくり

○地域共生社会の実現

- ・ネットワーク・コミュニティの構築、担い手確保（組織再構築）
- ・生活支援（移動・買い物・高齢者見守り支援等）の推進



移動販売の様子

○動物共生の実現

- ・人と動物が共生できる環境づくりの強化

地域の安全・安心

○良好な治安と安全で快適な交通の確保

- ・詐欺被害防止対策の推進、自転車盗難対策の強化等
- ・刑事手続のIT化の推進
- ・道路中央線の補修等交通環境の整備
- ・県民を守るための交通事故防止対策等の推進



詐欺被害防止対策



○消費者力の底上げ

- ・消費生活関連情報の一元化および提供体制の整備

○食の安全・安心の確保

- ・食の安全確保に向けた環境整備の推進
- ・公衆衛生分野などにおける獣医師確保の強化

6 人材の確保・育成・定着の促進 ～ 選ばれるおおいたの実現 ～

ビジョン2024
の加速

様々な産業で人手不足が深刻化し、人材の確保と育成、定着は喫緊の課題である。若者や女性、外国人材など多様な人材が活躍できる環境を整えるとともに、産業を支える人づくりを進めることで、選ばれるおおいたの実現を図る。

多様な人材が活躍できる環境づくり

○若年層

- ・大学・短大・専門学校生向け合同企業説明会の開催
- ・U I J ターン拠点施設「dot.」による第二新卒確保の推進
- ・工科短期大学校や大分高等技術専門校での企業ニーズに応じたり・スキリング支援の充実

○外国人材

- ・企業と外国人材をマッチングするための交流機会の創出
- ・企業と監理団体・登録支援機関の情報交換の場の創出

○多様な働き方

- ・男性の育児休業取得の促進
- ・テレワーカーの養成・就業促進



○女性活躍

- ・女性が働きやすくキャリアを築ける環境づくりの推進
- ・女性のチャレンジを後押しするための地域における意識醸成の推進



女性活躍応援県 おおいた

産業を支える人づくり

○医療・介護・児童福祉

- ・I C T 機器の導入支援
- ・外国人介護人材の受入促進
- ・児童養護施設の職員確保・定着支援



インカムを用いた職員間のコミュニケーション

○農林水産業

- ・資本力のある企業等の参入促進
- ・新規就業者の確保等に向けたセミナー・体験会の実施

○製造業

- ・企業技術者の育成支援
- ・企業と教育機関のマッチング支援

○建設産業

- ・あらゆる世代へ向けた、希望が持てる建設産業の魅力発信
- ・業界内外へP Rによる女性活躍の推進

○運輸業

- ・地域公共交通・物流を担う乗務員確保対策の拡充
- ・空港業務を支えるグランドハンドリング人材の確保対策

7 元気な農林水産業 ～ 元気な担い手の育成、元気な産地の形成 ～

ビジョン2024
の加速

農林水産業の従事者が減少する中、経営体と産地・地域の両面から生産性を高め、成長産業へと導くことが求められている。また、近年の夏季高温など環境変化にも対応する必要がある。そのため、主体的に経営を拡大する元気な担い手を育成・確保し、収益性の高い産地を形成するとともに、労働力の補完や高温対策等に重点的に取り組み、元気な農林水産業の実現を目指す。

経営体の生産性向上

○元気な「担い手」の育成・確保

- | | |
|-------------|--|
| 農
業 | <ul style="list-style-type: none">・ 専門人材による経営拡大サポートの充実・ 資本力のある企業等の参入促進・ 地域計画のブラッシュアップによる農地集積・集約化 |
| 林
業 | <ul style="list-style-type: none">・ 森林クラウドを活用した林地集積の促進・ 高性能機械の共同利用の推進 |
| 水
産
業 | <ul style="list-style-type: none">・ 漁業経営の多角化の推進・ 海づくり教室の開催など次世代への魅力発信 |

○生産者を支える技術・システムの構築

- ・ サービス事業体を活用した労働力支援
- ・ 農機の自動操舵、自動除草ロボットなど先端技術の導入促進



自動除草ロボット

産地・地域の生産性向上

○元気な「産地」の形成

- | | |
|-------------|--|
| 農
業 | <ul style="list-style-type: none">・ 大規模園芸団地を核とした園芸基幹品目の産地拡大・ 複合品目導入・品種選定など高温対策の強化・ 効率性が高い栽培方法の推進など水田作の高度化・ 県有種雄牛の高能力繁殖雌牛への戦略的な交配の推進 |
| 林
業 | <ul style="list-style-type: none">・ 非住宅建築物や内装材等での大径材の利用促進・ 早生樹造林の加速化、乾しいたけ生産の協業化 |
| 水
産
業 | <ul style="list-style-type: none">・ 沈下式生け簀の導入実証等による環境変化への対応・ 種苗生産施設を活用した資源造成の加速化 |

○需要に応じた販売チャネルの構築

- ・ 「The・おおいた」ブランドのファン拡大
- ・ 冷蔵、冷凍施設を活用した戦略的な販売へのチャレンジ
- ・ 輸出先国のニーズを捉えた販売促進



かぼす旬入り宣言

プロスポーツ合宿や大規模イベントの誘致に取り組む中、他県との競争や、大分スポーツ公園のアクセス改善などに対応する必要がある。また、芸術文化では次世代人材の確保や支援体制の不足も課題である。そのため、スポーツを支える施設のあり方検討や、芸術文化による創造的な地域づくり、障がい者の活躍機会の拡充を進める。

スポーツの振興

○大分から世界へはばたくスポーツツーリズム成長戦略

- ・地域活性化に繋がる県内スポーツ施設のあり方検討
- ・大分スポーツ公園と高尾山自然公園のバリューアップ
- ・スポーツイベントを活用したまちづくりの推進

○障がい者スポーツを楽しむ機会の充実

- ・パラスポーツ体験会等による活動の活性化



フレームランナーの体験会

芸術文化の振興

○芸術文化による創造県おおいたの発展

- ・OPAMの企画展や別府アルゲリッチ音楽祭等を通じた鑑賞機会の充実
- ・こどもたちを対象とした対話型鑑賞の充実
- ・カルチャーツーリズムの推進



別府アルゲリッチ音楽祭

○障がい者による芸術文化活動の推進

- ・障がい者アーティストと企業とのマッチング支援の推進

アクセスの改善

○大分スポーツ公園へのアクセス改善

- ・東九州自動車道 大分松岡パーキングエリアのスマートインターチェンジ化の検討

東九州新幹線等の整備計画路線への格上げに向けた取組や、広域道路ネットワーク整備の着実な推進が求められている。また、九州の東の玄関口としての国際線の維持・拡充やフェリー大型化への対応、公共交通の利用者減少や将来的な物流停滞への対策も重要である。そのため、人口減少を見据えたまちづくりに取り組み、交通・物流サービスの充実とともに、まちの魅力向上を図る。

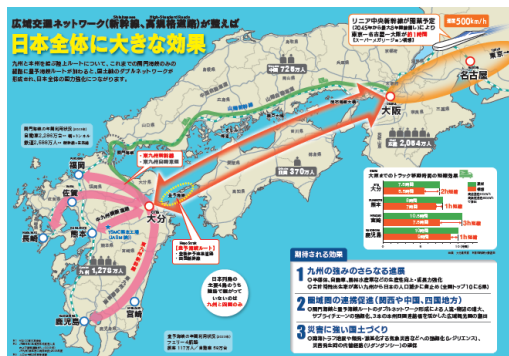
広域交通の充実

○東九州新幹線等や豊予海峡ルートの実現

- ・ 東九州新幹線等の整備計画路線格上げに向けた機運醸成
- ・ 豊予海峡ルート実現に向けた調査研究の実施
- ・ 関係県・団体等と連携した国への働きかけ強化

○広域道路ネットワークの充実

- ・ 中九州横断道路、中津日田道路、東九州自動車道4車線化の整備促進
- ・ 庄の原佐野線の整備推進



広域交通ネットワーク



整備が進む中津日田道路(日田山国道路)

空港・海上交通の充実

○空港・港湾機能の維持・強化

- ・ 国際線維持・拡充対策の強化
- ・ ホーバーターミナルとその周辺のにぎわいづくり
- ・ フェリーの大型化に対応した環境整備
- ・ 海上モーダルシフトの促進と国際海上物流拠点化の推進

生活交通・物流サービスの充実

○生活交通・物流サービスの維持・確保と利便性向上

- ・ 交通空白解消に向けた取組の推進
- ・ 持続可能な物流に向けた取組支援の強化



豊後大野市のデマンド交通

まちの魅力向上

○住み続けたいくなるまちづくりの推進

- ・ 都市の骨格となる道路の渋滞対策
- ・ 県の伴走支援による民間主体のまちづくりの推進
- ・ 多様なニーズに応えた住環境の実現に向けた取組の推進

温室効果ガスの削減や循環型社会の構築、自然環境の保全と活用は重要な課題であり、外来種対策や廃棄物削減への対応も必要となっている。そこで、GXに挑戦する企業を後押しするとともに、県民を巻き込んだ取組を広げ、グリーン・コンビナートおおいたの実現に取り組む。また、省エネ・創エネ(ZEB化)等を推進し、環境先進県おおいたの実現を図る。

持続可能な環境づくり

○大分県版カーボンニュートラルの実行加速化

- ・関係機関との連携強化による中小企業等の脱炭素化の推進
- ・「グリーンアップおおいた」を通じた県民の実践行動の促進
- ・熱中症対策にかかる環境整備等の促進

○環境負荷を抑えた循環型社会の構築

- ・デジタル技術を活用した産業廃棄物の選別処理技術の導入支援
- ・循環型社会を支える静脈産業の魅力発信
- ・合併処理浄化槽への転換促進

○豊かな自然の保全と活用

- ・ふるさと納税を活用した登山道整備など自然環境の保全
- ・阿蘇くじゅう国立公園改称40周年を契機とした滞在型利用の促進



登山道整備

GXに挑戦する企業の後押し

○GXに挑戦する企業の後押し

- ・グリーン・コンビナートおおいた推進構想の着実な前進
- ・水素サプライチェーンの構築及び脱炭素に向けた取組の推進
- ・地熱・小水力等の再エネ資源の利活用促進

ZEB化等の推進

○公共建築物のZEB化等の推進

- ・公共建築物のZEB化や県営住宅の照明LED化の推進
- ・市町村有建築物のZEB化導入促進



豊かな自然の魅力発信

○持続可能な環境づくりの啓発

- ・自然保護・利用に関する情報発信の強化
- ・2027年国際園芸博覧会を契機とした魅力発信

今後2050年にかけて、急速な少子高齢化・人口減少が進行し、官民双方の担い手不足の深刻化、地域社会の維持困難が懸念される。そこで、デジタル技術を最大限に活用し行政や社会のしくみを変革することで、地域社会と経済の活性化を図り、大分県の持続可能な未来を実現する。そのため、大分県DX推進戦略に基づき、暮らし・産業・行政の各分野で、DXの推進を加速する。

暮らし

○医療・介護・児童福祉

- ・ ICT機器・DX導入等の支援強化

○地域コミュニティの支援

- ・ 高齢者集落における見守りへのデジタル技術活用

○遠隔教育大分モデルの推進

- ・ 遠隔技術を活用した遠隔授業の充実や交流学习の推進

○先端技術を活用した犯罪捜査の推進

- ・ 複雑・困難化する犯罪に対する捜査技術の高度化

行政

○行政DX

- ・ 新たなAI・デジタル技術の活用
- ・ デジタル人材の育成強化・取組支援
- ・ 持続可能な行政DXを支える情報通信基盤の高度化
- ・ 市町村DXの伴走支援、システム活用による県・市町村事務の連携強化

産業

○中小企業

- ・ 中小企業向け支援の一本化によるワンストップ体制の構築、専門人材育成の促進
- ・ AI活用、DX化の推進・促進

○運輸業

- ・ 運行管理システム等の導入促進、ドローン配送等の促進

○農林水産業

- ・ 農機の自動操舵、自動除草ロボットなど先端技術の導入促進（再掲）

○建設産業

- ・ 3次元CAD等のICT化支援
- ・ AI等新技術を活用した点検業務等の効率化の推進



ドローンでの農薬散布



レーザーと高解像カメラを搭載した専用車両による走行型のトンネル点検

通学区域制度等の方針や授業料無償化の拡充等を踏まえた対応、教員の長時間労働への対策など課題は多い。そこで、学校の魅力向上、遠隔教育大分モデルの推進、安全で安心な教育環境の構築、教員の負担軽減と人材確保、私学振興の推進、県内大学の連携強化等に取り組み、「教育県大分」を創造する。

学校の魅力向上

○学校の魅力向上に向けた取組

- ・複数校志願制度等の導入など、地域の高校を選択しやすくする仕組の構築に向けた入試制度改革
- ・特色ある教育活動の実現に向けた学科改編等の取組
- ・学校運営協議会の設置拡大など地域と学校の連携の促進
- ・多様な生徒と切磋琢磨する環境づくりに向けた全国募集の推進



発酵・醸造をテーマとした学び（安心院高校）



パラボリックフライトの体験（国東高校）

遠隔教育大分モデルの推進

○高校教育段階

- ・遠隔授業受信校の拡大や幅広い学力層への対応など習熟度別遠隔授業の充実

○義務教育段階

- ・中山間地域等の学校での遠隔学習の拡大
- ・外国人留学生との遠隔での交流学习

○グローバル人材・夜間中学

- ・遠隔講座によるグローバル人材の育成
- ・夜間中学でのオンライン講座の実施



2校合同遠隔授業の様子

安全・安心な教育環境の構築

○いじめ・不登校等対策の強化

- ・登校支援員やスクールカウンセラーの配置増など教育相談体制の充実
- ・学校問題の解決支援の充実

教員の負担軽減・人材確保

○教員の負担軽減・人材確保の取組

- ・教員の負担軽減に向けた教員業務支援員の配置拡大
- ・大学推薦制度や有給インターンシップ制度の導入など多様な人材確保策の推進
- ・部活動の地域展開の促進



行財政改革の着実な推進

急速な少子高齢化・人口減少の進行や社会資本・公共施設の老朽化、社会保障関係費の増加といった構造的な課題に対応するため、デジタルの力を活用した「社会変革」と、持続可能で質の高い公共サービス等の維持・向上の実現に向けて、行財政改革を着実に進めていくことが必要。

1 県民目線に立ったデジタル社会の実現

○ DXの加速化と先端技術の活用

- ・ 県民サービス向上に資する業務の効率化・高度化
(生成AI活用等による業務効率化、公共性の高い分野のDX推進)
- ・ 市町村の行政DX支援 ・ デジタルデバイド対策の推進

○ 行政におけるDX人材の確保・育成と環境整備

- ・ DX人材の確保・育成
- ・ オープンデータの環境整備と利活用促進
- ・ デジタルインフラの効果的な運営及び活用

2 連携・協働による公共サービス等の維持・向上

○ 市町村連携等による広域課題の解決と効率化

- ・ 市町村行政運営の維持・向上への支援強化

3 社会資本・公共施設の老朽化への対応

○ 長寿命化・予防保全の推進

- ・ 予防保全型維持管理の推進

○ 県有建築物の有効活用・民間活力の活用

- ・ 県民ニーズを踏まえた施設の用途廃止・集約化

4 社会保障関係費の増加への対応

○ 医療費適正化と地域医療構想の更なる推進

- ・ データ活用による効率的・効果的な保健事業の推進
- ・ 在宅医療の充実・強化と医療機関の機能分化・連携促進

○ 介護予防・自立支援と高齢者の活躍推進

- ・ 地域包括ケアの基盤強化と自立支援型サービスの推進
- ・ 高齢者の就労促進や地域活動の参加促進

5 職員人材の確保・育成と働き方改革の推進、安定的な財政基盤の確保

○ 職員人材の確保・育成

- ・ 多様で優秀な人材確保に向けた総合的な取組の推進
- ・ 職員の成長支援を強化するキャリア形成や研修派遣の充実

○ 働き方改革の推進

- ・ 効率的で質の高い働き方を実現するオフィス改革の推進

○ 事業の選択と集中等による安定的な財政基盤の確保

- ・ 財政調整用基金残高の確保、県債残高の適正管理



予算特別枠「おおいたビジョン加速枠」

県政の諸課題に、迅速かつ適切に対応するとともに、新たな成長の機会を確実に捉え、時流を逃さず果敢に挑戦していくことが求められている。そのため、予算特別枠「おおいたビジョン加速枠」を設け、効果的な新規・重点事業を展開し、大分県の未来を切り拓く取組を加速させていく。

○予算特別枠の対象とする政策テーマ：「選ばれるおおいた」の実現に向けたビジョンの取組加速

1 喫緊の課題への対応と万博成果の未来への継承

- ①物価高騰への対応と持続的な賃上げの実現
- ②新たな被害想定を踏まえた県土強靱化と危機管理の強化
- ③大阪・関西万博等からひろがる おおいたの未来

2 「ビジョン2024」の加速

- ①子育て満足度・健康寿命・障がい者活躍の3つの日本一への挑戦
- ②安全・安心・共生社会おおいたの構築
- ③人材の確保・育成・定着の促進
- ④元気な農林水産業の実現
- ⑤スポーツ・芸術文化によるおおいたの元気づくり
- ⑥交通ネットワークの充実とまちの魅力向上
- ⑦「環境先進県おおいた」の実現
- ⑧未来を拓くDXの推進
- ⑨「教育県大分」の創造

※対象とする取組はソフト事業を中心とする。